

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

埼玉県 第2回地域セミナー 報告書

2019（令和元）年7月23日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」埼玉県第2回地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方9名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年7月23日（火）15時00分～16時30分

会場：ソニックシティビル 701会議室

主催：埼玉県教育局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：9名

プログラム：

15:00～15:05 開会挨拶

埼玉県教育局 教育総務部 教育政策課

課長 加藤 健次 氏

15:05～15:10 指導者・事務局職員紹介

埼玉県教育局 教育総務部 教育政策課 政策担当

主査 中村 則裕 氏

15:10～15:30 講義 オリンピック・パラリンピック教育の推進について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

研究員 岡田 悠佑 氏

15:30～16:10 協議 各教育推進校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進について

各推進校担当者

16:10～16:15 指導・講評

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

主任研究員 青木 彩菜 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

16:15～16:25 諸連絡

埼玉県教育局 教育総務部 教育政策課 政策担当

主査 中村 則裕 氏

開会行事では、埼玉県教育局の加藤氏より挨拶がありました。加藤氏からは、東京大会の開催が約1年後に迫る中で、本事業において児童・生徒のスポーツへの文化的価値を高める取り組みを通して、東京大会への機運醸成を図っていききたい、と本事業の狙いについてお話いただきました。

次に、本センターの岡田研究員より、学校における様々な教育活動と関連付けた実践事例の紹介がありました。具体的には、『平成30年度スポーツ庁委託事業オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 実践事例集』を資料として、「体育理論」領域とオリンピックの講演を関連づけた実践、地理の授業における世界のスポーツ文化について学習した実践、体育科の運動領域においてパラスポーツを活用した実践等についての事例紹介がありました。



加藤氏の挨拶



岡田研究員の講義

続いて、高等学校と特別支援学校の2グループに分かれて、各推進校の実践計画に基づいた協議が行われました。各グループでは、まず各推進校の担当者から計画書の説明がありました。計画書は、オリ・パラ教育の目標や月ごとの実践計画の欄が設けられています。計画書の説明では、各推進校が抱える課題や先生方の問題意識とオリ・パラ教育の5つのテーマを関連付けた目標設定がされていました。また、各月の実践計画では、オリンピック・パラリンピアンによる講演を中心としつつも、「体育理論」領域における実践、異校種との交流活動、ボランティア活動等、年間を通した充実した計画がたてられていました。

実践計画を紹介いただいた後には、各推進校の計画書について意見交換が行われました。そこでは、今後のアスリートの招聘に関する準備の進め方や事前・事後学習の内容の検討、さらには推進校における他の教員への周知の仕方等について意見交換が行われました。

最後に、今年度から実施する児童・生徒用のアンケート調査の概要や事業報告書の書き方等の諸連絡があり、散会となりました。



グループワーク



中村氏の説明